令和２年度　キャリア教育通信　　２０２０年１２月２５日

Be Ambitious

第４８号

修学旅行や体育大会、合唱コンクールなど様々な行事があり、思い出がいっぱい詰まった２学期も終わり、いよいよ明日から冬休み。今年は特に、世の中の動きもあり落ち着かない毎日が続くかと思います。しかし、期間的には短い休みですが、みなさんにとっては大切な１２日間です。計画的な学習を進めていきましょう。また、冬休み中に入試がある生徒もいると思います。「Ｂｅ　Ａｍｂｉｔｉｏｕｓ第４６号」を確認し、忘れ物のないようにして自分の実力をすべて出し尽してきてほしいと思います。規則正しい生活の中、未来への一歩を踏み出していきましょう！！

冬休み・これからの学習について

その１：残された短い時間で何ができるのか考えるべし

残された短い期間で何ができるのか･･･？例えば、確実に得点につながる教科の学習を効率的に行っていくことでしょう。確実に得点アップが図れる分野の学習を、教科ごとに考えて取り組む計画を立てて行きましょう。また、今回は特に【Be　Ambitious　第39号･40号】も参考に入試範囲の確認も忘れずに！！

その２：過去問を研究するべし

過去問に取り組むことにより、各校の出題傾向や特徴が分かります。問題のパターンが大きく変わることはほとんどありません。過去問を一度やっておくのと、やらずに試験に臨むのとでは差がでるのかと思います。また、時間配分も計算できるでしょう。

その３：基礎的な内容の確認をするべし

基礎問題は、できる人が多いです。そのため、これができるかできないかが合否の分かれ目だといっても過言ではありません。また、応用問題は、基礎を確実に理解していると解けるようになります。

その４：くり返し学習をするべし

今まで学習に使ったもの（ノート、教科書、参考書、問題集など）を、くり返しやれば必ず力がつきます。新しいものに取り組むのもよいのですが、あまり、あれこれ手をつけるのも勧められません。すでに学習したものを、完全に自分のものとして身につけていくとよいでしょう。

その５：入試のレベルに合った学習法をするべし

自分の受ける試験が、どの程度の難度なのかを考え、そのレベルに応じた学習を心がけましょう。難問ばかりが載っている問題集に向かっている生徒も見かけますが、公立の試験対策ならば、標準程度のもので十分です。それが完璧になってから、さらに上を目指して難問に挑戦していくことがよいと思います。

その６：深夜型から朝型にするべし

入試では早朝から試験が始まります。夜遅くまで勉強していて、昼間に眠くなってしまう人はいませんか？そろそろ深夜型から朝型に変えていきましょう。午前中に頭がフルに働くようにしておくことが大切です。

良いお年をお迎えください。